

本コースは本院の総合診療部・救急部を中心として、僻地医療拠点病院等、僻地診療所等での研修を含めて僻地診療専門医、専門看護師を養成する4年間の研修プログラムであり、予防医学から救急、災害時にも対応可能な僻地診療医師や看護師養成の養成を目指している。文部科学省の平成17年度地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム（いわゆる病院GP）に選定された。

【特徴】

- ①本大学病院独自の総合診療部と救急部の合体運営を活用して、救急総合診療の研修から開始し、僻地医療拠点病院等の地域病院における総合内科研修、僻地診療所等における僻地診療研修を含むコースを設定している。
- ②僻地診療教育支援センターを本大学病院総合診療部に設置し、ITを利用した教育支援、及び教育人材の派遣を盛り込んでいる。
- ③国際的な視野をもった医療人養成のために海外の家庭医学の教官を招聘して教育を行う。

【研修コース】

- 1年目：福井大学医学部附属病院 救急部、総合診療部（救急総合診療研修）
- 2年目：僻地医療拠点病院等（総合内科研修）
- 3年目：僻地診療所等（診療所、在宅医療、学校保健等の研修）
- 4年目：希望施設、希望科研修（弱点補強、得意分野の確立等）